

# かがやく花々

## 平和の子ら

学校法人平和学園  
平和学園小学校  
2016年度 学校だより 第4号  
〒253-0031  
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2  
Phone 0467-87-1662/ 0131  
Fax 0467-87-0411  
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

### 年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。  
ローマの信徒への手紙 14章18節

校長 橘 明子

毎月、平和教会の大澤先生に児童礼拝をお願いしています。今月の礼拝の日に大澤先生は子どもたちに聞きました。

「みなさんは、あこがれている人がいますか？」

その一言で子どもたちは自分のあこがれている人を思い浮かべたに違いありません。同じように教師たちも「あこがれている人」を思い浮かべたと思います。現代社会を生きる子どもたちには夢や希望があまりないといわれています。もちろん夢や希望をもっている子どもたちもいます。自分の身近な大人、スポーツ選手や文化人など。子どもたちには夢や希望をもって成長してほしいと大人は願います。そのためには、子どもたちが今しかできない経験をたくさん積んで自分らしく、胸を張って生活することができる環境を大人である私たちが整えることが大切であると思います。

聖書に「家と土台」というお話があります。子どもたちの成長にこのお話を重ねてみると、家とは、土台とはどこを指しているのでしょうか。特に「土台」は表面には見えないけれど家を支える大事な部分です。では、小学校教育の中で「土台」とは何でしょうか。(心の内側、心の成長とよく言われていますが……。)保護者の皆さまと一緒に子どもたちの「土台」となる心の成長について考えていきましょう。

その一つとして、今学校で行われている「母たちのお話会」は子育てのこと、絵本の紹介、大澤先生の経験談など様々な方向からのお話を聞くことができました。自分の内側の財産が増えたように感じました。子育ては、子どもの背中を押して励ます時、手をつないで一緒に歩きながら支える時であること。そして、しっかりと抱きしめて向き合う時が必要なことだと改め

て考える機会となりました。

子どもたちが自分を誇らしく、ありのままに自分を認めて生きていくことが、夢や希望をもって生きることにつながるとは思います。いかがでしょうか。人は誰でも長所・短所があり、お互いに認め合いながらともに生きていきます。もちろんお互いに気持ちよく生活するための努力はしなければなりません……。イエスさまは人間がどのような人であっても、その人を愛おしいと思ってくださいます。平和学園の使命として、子どもたちには聖書の中に書かれている「自分を愛するように 隣人を愛しなさい」という御言葉を心に留めて成長してほしいと願います。

現代社会の中で一番難しい問題は「平和」かもしれません。子どもたちとともに私たちも「平和をつくり出す」一人として、自分を愛するように隣人を愛していきましょう。

